

# 公認会計士試験 合格！！

合格率10.7%の難関をみごと突破

## 公認会計士試験合格までの道のり

小松商業高校2年次 11月 日商簿記検定1級合格 →  
税理士試験受験資格を得る

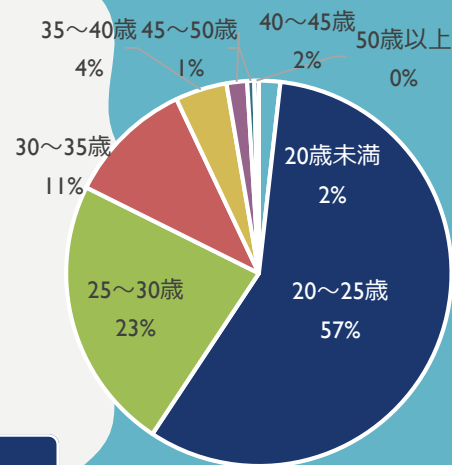
小松商業高校3年次 8月 税理士試験2科目合格  
(簿記論・財務諸表論 必修2科目)

中央大学へ進学 (全商推薦) 授業料半額免除 (4年間)

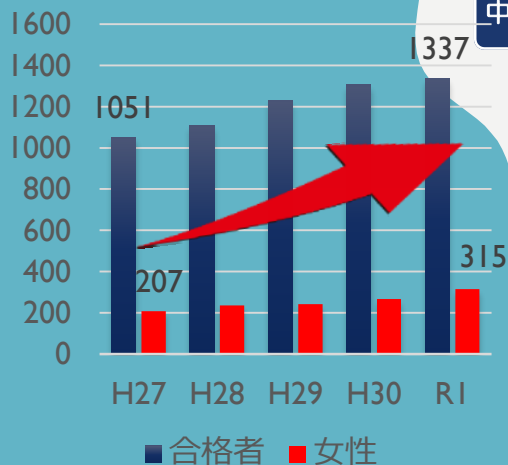
公認会計士試験短答式合格12月受験 **合格**  
中央大学1年次

公認会計士試験論文式合格8月受験 **合格**  
中央大学2年次 合格率10.7%の難関

合格者の平均年齢は25.2歳である。合格者の8割を30歳未満が占めている。このことから、高校で会計の基礎知識を身につけ、大学生の間に公認会計士試験に合格することが可能になるのが商業高校である。



過去5年間の合格人数



公認会計士試験に合格したあと、今は実務経験を積むために準備しています。大学卒業後は大手監査法人に就職し、更なる専門性を身につけ、病院や地方自治体など公共サービスに関する事業体にも貢献していきたいと考えています。多くの人と関わることにより、人脈を築くとともに、自分に欠けている人としての資質など仕事面以外の部分も磨いていきたいと思っています。そしていずれは石川県で活躍したいと考えています。



本田彩乃さん  
(安宅中出身 20歳)

過去5年間の公認会計士試験の合格者の推移をみると、合格者の増加とともに、女性の合格者の数も増加している。女性のライフスタイルに合わせた働き方ができる公認会計士の仕事が注目を浴びている。